

放射 性 廃 棄 物 の 管 理 状 況

2 0 2 3 年 8 月 分

九州電力株式会社
(川内原子力発電所1号炉)

(1) 気体廃棄物

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排気口濃度(Bq/cm ³)	
		平均値	最大値
N D	9.1×10 ⁸	—	—

(注) ND:検出限界値未満を示す。

(2) 液体廃棄物※

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排水口濃度(Bq/cm ³)	
		平均値	最大値
N D	N D	—	—

(注) ND:検出限界値未満を示す。

※ 1、2号炉計の値を示す。

(3) 固体廃棄物※

発生量(本) (焼却処理等による減少分)	累積貯蔵量(本)
152 (-189)	27,562

(注) 200ℓドラム缶相当本数で示す。

※ 1、2号炉計の値を示す。

放射 性 廃 棄 物 の 管 理 状 況

2 0 2 3 年 8 月 分

九州電力株式会社
(川内原子力発電所2号炉)

(1) 気体廃棄物

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排気口濃度(Bq/cm ³)	
		平均値	最大値
N D	6.2×10 ⁸	—	—

(注) ND:検出限界値未満を示す。

(2) 液体廃棄物※

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排水口濃度(Bq/cm ³)	
		平均値	最大値
—	—	—	—

※ 1、2号炉計(共用設備)を1号炉分に示す。

(3) 固体廃棄物※

発生量(本)	累積貯蔵量(本)
—	—

※ 1、2号炉計(共用設備)を1号炉分に示す。
(尚、2号炉実績は1985年2月より)